

縁プロジェクト&DAREDEMO HERO DAREDEMO HERO

災害助け隊 in フィリピン

報告書



日程：平成26年2月7日～11日
活動地域：フィリピン レイテ島タクロバン・タナウアン

目次

目次	2
団体紹介	3
活動概要	4
事前準備	5
コンベンションセンター	6
タナウアン小学校	7
継続支援地域	8
ご協賛者様一覧	9

縁 縁プロジェクト

縁プロジェクトは東日本大震災発災後、宮城県東松島市でのボランティア活動メンバーが中心となり、大田区、大田区被災地支援ボランティア調整センター及び東松島市と連携、協働し、さまざまな活動を行い、将来にわたっての相互交流事業を展開しています。

また東松島市を始め、あらゆる被災地で培った経験と知識、メンバー同士のつながりを、大田区内の地域防災活動に活かせるよう活動していきます。

ホームページ: <http://otaenishiproject.jimdo.com/>



DAREDEMO HEROは「構造的な貧困層からの脱却と自立した生活を営める手助けをする」ことを理念に、フィリピンのセブにいる「貧困層の子どもたちの支援」をする団体です。

台風30号緊急復興支援では『支援が後手に回るエリアで復興支援』『時間と共に変化する必要物資を目に見える形での直接支援』を行っています。

ホームページ: <http://daredemohero.com/>

<https://www.facebook.com/#!/DaredemoHero2013>

活動概要

趣旨

2013年11月8日早朝にフィリピン中部に上陸し、死者6,000人以上、行方不明者2,000人を超える被害が出した台風30号。

被災中心地タクロバンは、まだまだ復興は進んでおらず、大規模な支援が必要とされています。しかし、現地で活動していた大きな団体は次々と撤退し、支援が足りていません。

80%以上がカトリック教徒であるフィリピンで、お祈りに使うキャンドル也没有。洋服も足りません。学校には文房具也没有。縁プロジェクトでは、自分たちにできる支援を考え、皆さんの想いを直接フィリピンに届けられるよう、活動していきます。

また、現地支援活動で培った経験と知識を、今後の大田区の地域防災活動に活かしていきます。

日程

平成26年2月7日～平成26年2月11日

活動地域

フィリピン レイテ島タクロバン・タナウアン

活動内容

場所	対象人数	支援内容
コンベンションセンター	2,000人	【大人】古着・キャンドル・マッチ・ヌードル 【子供】古着・お菓子・ボールペン・おもちゃ
タナウアン小学校	600人	古着・キャンドル・マッチ・ヌードル・お菓子・ボールペン・ポラロイド撮影
継続支援地域	250人	キャンドル・マッチ・ヌードル・お菓子・ポラロイド撮影

事前準備

大田区内を中心に、たくさんの方々のご協力のもと、
たくさんのご支援をいただきました。

【古着】約2,000枚

【ボールペン】約1,500本

【キャンドル購入用募金】227,000円

受領書	No.000061
縁プロジェクト 様	
金額	¥227,000円
但 復興支援の義援金として	
2014年2月8日	
上記正に受領いたしました	
DAREDEMO HERO	800 HIGHWAY 77 TALAMBAN CEBU CITY 国際協力ボランティア団体 DAREDEMO HERO (誰でもヒーロー) 代表 山中 博/TEL +63-917-628-6689 HP: http://www.daredemohero.com FB: http://www.facebook.com/DaredemoHero2013



現地での仕分け作業



たくさんの支援物資



トラックいっぱいの支援物資



65個の荷物を運ぶ



地元ボランティアと詰め込み作業

コンベンションセンター

タクロバン中心地にあるコンベンションセンター。

ここはタクロバンでも被害が大きく、台風の際そこに逃げ込んだ何千人もの方々が、高潮にのまれ、お亡くなりになりました。

災害直後は、地元のテレビ局ABS-CBNが子供向けに漫画や映画を上映していた場所ですが、早々に撤退してしまい、ハエが群がる寂しい場所と化していました。

ここでは、未だに2,000人以上の被災者がテントでの不自由な生活を強いられています。治安の悪化が報道されていますが、警察や地元ボランティアの協力のもと、混乱もなく、2,000人分の物資を配布することができました。



列を作って配布の時を待



ひとりひとりに手渡して



新しい洋服に大喜び



2,000人が未だにテント生活

タナウアン小学校

タナウアン小学校では600人の生徒に対し、テントの教室が2つしかなく、全員がまともに授業を受けられる状態ではありません。校長先生によると子供たちの中には「両親ともに失った子供」「父親を失った子供」「母親を失った子供」が合計33人もいるとのこと。そんな中でも、子供たちの笑顔は素晴らしく、私たちを歌で歓迎してくれました。



継続支援地域

まだまだ「被災中心地と同様の被害があるが支援の行き届いていない場所」がたくさんあります。今回訪問した集落は、吊り橋が崩壊して集落が分断されてしまっています。

まだまだ電気も通っていないため、寄付された発電機で充電基地が作られています。基地は地域住民によって運営されており、安定した長期支援が行われています。

携帯電話の充電ができることで、離れて暮らす大事な家族と連絡が取れ、心の支援にもつながります。



子供達の大好きなお菓子



がれきの中の充電基地



橋が壊れ、分断された集落



写真に興味津々

ご協賛者様一覧 【順不同】

大田区被災地支援ボランティア調整センター様

大田区役所有志一同様

大田区役所地域地振興課様

東京商工会議所大田支部様

大森まちづくりカフェ様

山岳写真の会「白い峰」様

東京ライトハウスチャーチ様

小西医院様

新明国上教会様

渡辺工務店伝助様

日本橋ふくべ様

第一三共株式会社様

大田ボランティア合唱隊様

太郎ちゃんフレンズ様

縁プロジェクト有志一同様

野田 隆 様 ・ 石渡 眞智子様 ・ 渡辺 武様 ・ 長谷川 正様 ・ 怜良様

北島 正也様 ・ 朝比 奈和恵様 ・ 仙 由紀子様 ・ 小西由美子様

山下 ちえこ様 ・ 関山家様 ・ 仙 しづ子様

